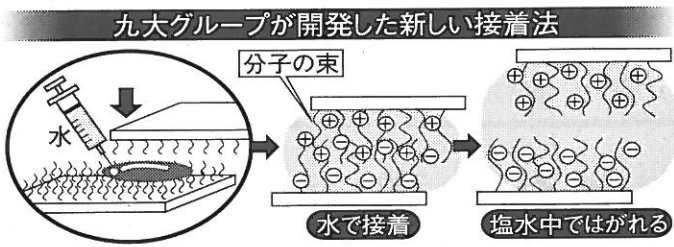


環境に優しい 新接着法開発

九州大先導物質化学研究所(福岡市西区)の高原淳教授らの研究グループが、水を挟むだけで貼り合わせと剝離を繰り返せる新しい接着法を開発した。物の表面に歯ブラシのような形状のアクリル系の分子(ポリマー)を付けることで、従来の接着剤では難しかったステンレスとシリコンなどの異なる素材を接着でき、水の中でも剝がれにくいという。論文が英科学誌「ソフトマター」電子版に掲載された。



九大研究所 医療器具への活用に期待

研究によると、この接着法は、正の電荷を帯びた分子と負の電荷を帯びた分子を貼り合わせたい物の双方に付け、水を挟むことで正と負をくっつける。分子は長さ1万分の1ミリで、1平方センチあたり20兆本ほど付ける。これで15キの重さをつり下げられる。くっつけた物を水に浸しても、150度の熱湯に入っても剝がれないという。

一方、塩水につけると正と負が引き合う力が弱まるため剝がれる。分子はガラスや金属、合成樹脂などに付けることが可能。トルエンやシンナーなどを使った従来の接着剤より環境に優しい。コストを安く、強度を高めて実用化すれば「医療用カテーテルの製造過程や自動車の内装などに生かすことができ(高原教授)という。」

(山下真)



九州国博「頼朝像」初公開へ

九州国立博物館(福岡県太宰府市)は16日、6月28日に開幕する特別展「よみがえる国宝 守り伝える日本の美」(九州国立博物館、西日本新聞社など主催)の展示概要を発表した。優れた絵、文書、工芸品などの文化財を展示し、それらを長年、守り伝えてきた保存、修理、模造の技術を紹介する。77件の展示品のうち国宝が11件、国の重要文化財が18件ある。

九州初公開「源頼朝像」写真、「平重盛像」は鎌倉時代(13世紀)の絹絵。装潢(そうこう)師と呼ばれる専門家が約30年前に穴が開いた部分に絹を補うなどの修理をした。定期的な曝涼(ばくりょう)で守ら

121冊に達し先立ち、福台は、九州北スモッグが発条件が整ったツグ気象情報いた。

光化学スモとなる光化学トは、工場のに含まれる物に反応してで度になると目康被害をもたある。気象台はい煙などは5、13日に観と同じく、西大陸から運ば

熊本など念貨幣打ち初治法施行60周幣のうち、富熊本各県分のが16日、大阪幣局であった各10万枚発

会期は8月28日まで。

島原市、南島原市に光化学スモッグ注意報長崎県は16日午後2時55分、島原市と南島原市の全域に光化学スモッグ注意報を出した。午後6時10分に解除した。九州7県で注意報が発表されるのは今年初めて。

長崎県によると、午後2時に島原市内の観測所で光化学オキシザン濃度が基準値を超える0・



22期女流王位戦5番勝負(西日本新聞社主催)第2局が18日午前9時、兵庫県姫路市のイーグレひらめじで始まる。

振り飛車党の甲斐と居飛車党の清水による2年

連続の同一かは札幌市でのやかな逆転勝が、10日に女ルを失ったほのタイトルい甲斐が連19期連続で登場した清水挙げて奪還へをつかむか、だ。

立会人は段。持ち時間同日夜まで見込み。

対局の模様聞ホームページする。

防災専門家の意見聴取

地震や津波対策 福岡市長が明言

福岡市立こども病院(中央区)の移転問題をめぐり、福岡市の高島宗一郎市長は16日、市内で起こり得る地震や津波、液状化対策について、近く専門家から直接意見を聴くことを明らかにした。西日本新聞

波、液状化対策について専門家に確認するとした。現病院は老朽化し、耐